

新城市役所作手総合支所に設置された

AED 同市作手高里で



新城市にAED5台

豊橋ハートセンターが寄贈

医療法人澄心会「豊橋ハートセンター」(豊橋市大山町、鈴木孝彦院長)は、心肺停止状態の救命措置に使用するAED(自動体外式除細動器)を5台、新城市に寄付した。

同市は13、14日の2日間で、市役所風来総合支所、市役所作手総合支所、市保健センター、新城市福祉会館、道の駅・つくで手作り村の5カ所に、それぞれ1台ずつ設置し

た。

不特定多数の出入りする公共施設に設置し、緊急時の蘇生率アップを狙う。これまでも、同センターは新城市に3台贈っており、市役所本庁舎と新城文化会館、市民病院の3カ所に1台ずつ設置されている。

現在、同市内にAEDは、これら公共施設ほかホテルやパチンコ店など民間施設も含めて、19カ所に各1台ずつ設置されている。

一方、新城市消防本部としては本署の3台はじめ、風来・設楽・東栄分署や作手出張所、豊根・津具分遣所、富山駐在所に1台ずつ配備してある。(杉森秀房)